

スピーカ選択ユニット

品番 WK-420

取扱説明書 (工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



このたびは、パナソニック スピーカ選択ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

●取扱説明	
安全上のご注意	2
特長	3
各部の名称と働き	3
●工事説明	
本機の使いかた	4
電力増幅ユニットからの入力系統の分けかた	5
■スピーカ回線の最大容量	5
■スピーカ回線の系統の分けかた	5
内部設定	6
■スピーカ回線の容量が50Wを越えるとき	7
■非常用放送設備と接続するとき	7
接続のしかた	8
■後面コネクタの接続	8
■スピーカ出力コネクタの接続	9
■非常用放送設備との接続	10
定格・付属品	11
■定格	11
■付属品	11
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、 改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

不安定な場所に 置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

お願い

●本機をご使用の際は

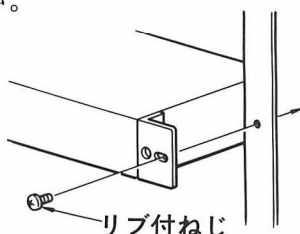
主となる装置の説明書を参照するなど、システムの概要・仕様を十分ご理解いただき、今一度ご確認のうえ設置してください。

●必ずラックに組み込んでください。

本ユニットは、ラックマウント専用です。

●ラックマウント時のご注意

ラックマウント時には必ず付属のリブ付ねじをご使用ください。



●ご使用いただく電源電圧はDC24Vです。

専用のケーブルで接続してください。

●お手入れについて

電源を切り乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。

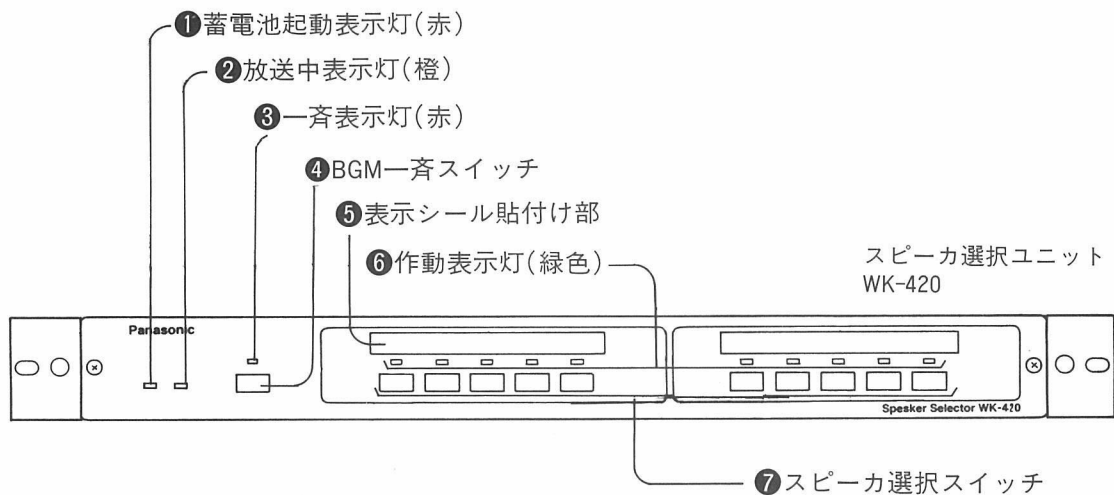
お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

特長

- 本機は、ラック形音響装置WL-7100、7600で、BGM放送モードを行うときのBGM放送用スピーカ選択ユニットです。
- 本機1台でスピーカ10回線まで放送することができます。
- スピーカ1回線当りの容量は50Wまでです。

各部の名称と働き



①蓄電池起動表示灯(赤)

BGM放送用として使用する場合は、停電時に蓄電池で起動しても点灯しません。

②放送中表示灯(橙)

スピーカ選択スイッチ⑦を押すと点灯します。
業務用スピーカ選択ユニットで業務放送が選択されてBGM放送が中断しても消灯しません。

③一斉表示灯(赤)

本機のBGM一斉スイッチ④を押すと点灯します。

④BGM一斉スイッチ

- ・一斉でBGM放送を行うときに押します。
- ・再度押すと、このスイッチを押す前に選択されたスピーカ回線を除いて復旧します。
- ・アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のときは、アッテネータが「OFF」のときに放送することはできません。

⑤表示シール貼付け部

放送系統・放送場所などを記入した表示シールを貼り付けます。

⑥作動表示灯

- ・スピーカ選択スイッチ⑦を押すと、その作動表示灯が点灯します。
- ・BGM一斉スイッチ④を押すとすべての作動表示灯が点灯します。

⑦スピーカ選択スイッチ

- ・BGM放送をしたいブロック(部屋、エリア)またはスピーカ回線を選択するときに押します。
- ・再度押すと復旧します。
- ・選択したブロック、スピーカ回線で業務放送を行っているときはBGM放送はできません。

工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。
工事の場合は、必ずシステムの電源を切ってから行ってください。

本機の使いかた

本機は、ラック形音響装置WL-7100、7600で、BGM放送モードを行うときに必要となるユニットで、WL-7100、7600に収納されているスピーカ選択ユニットWK-420とは、内部設定や設続の方法が異なります。

■BGM放送用(本機)と業務放送用スピーカ選択ユニットWK-420の使用方法的相違点

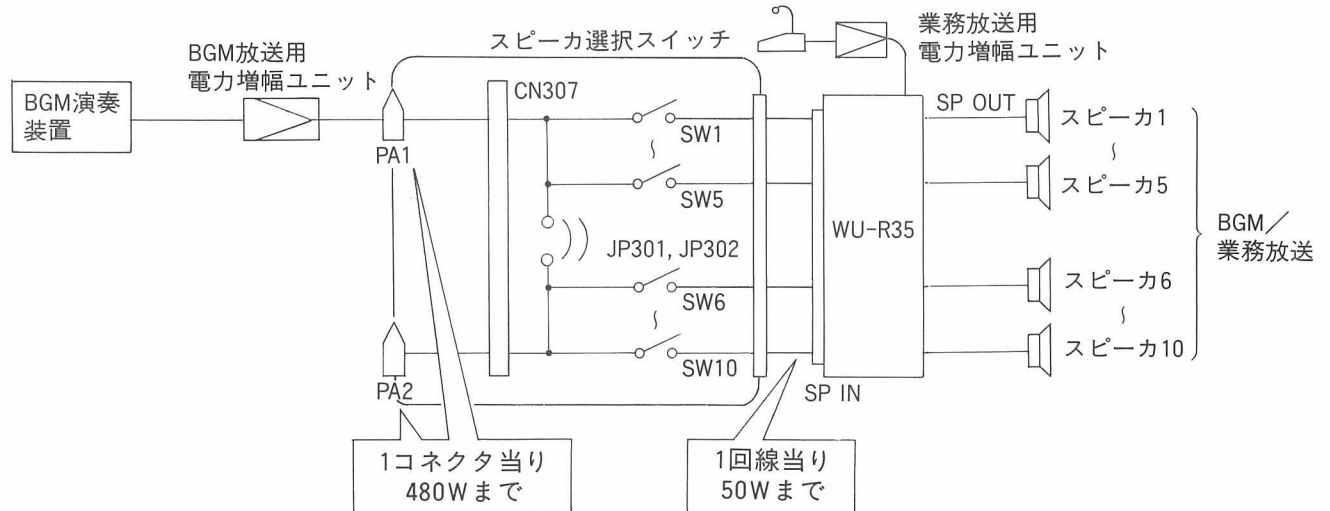
		BGM放送用のスピーカ選択ユニット WK-420 (本機)	業務放送用のスピーカ選択ユニット WK-420 (WL-7100、7600に実装済み)
リモコンマイクの使用		不 可	リモコンマイクで業務放送が可能
ダイオードマトリクスボードWU-Z50の使用		不 可	業務放送のまとめ放送が可能
内 部 設 定	リモコンリレーユニット WU-R31 を使用するときの設定	BGM放送用のリモコンリレーユニット WU-R31を使用する場合は、「RLU ON」に、使用しない場合は、「RLU OFF」(出荷状態)にします。	BGM放送モード選択ユニット WU-R35を制御するため必ず「RLU ON」にします。
	優先順位の設定	優先順位3位(出荷状態)のまま変更しません。	業務放送用のスピーカ選択ユニット WK-420の優先順位に設定します。
	外部制御の優先順位の設定	ダイオードマトリクスボードWU-Z50を使用しないため設定はしません。	ダイオードマトリクスボードWU-Z50を使用して外部制御を行う場合、外部制御の優先順位によって設定を行います。
	非常用放送設備と接続するときの設定	(1)非常用放送設備のEMG24Vブレイクは、BGM放送用と業務放送用の端子盤に接続します。 (2)BGM放送用、業務放送用の各スピーカ選択ユニットWK-420はJP305とJP306を「ON」側に設定します。	

電力増幅ユニットからの入力系統の分けかた

■スピーカ回線の最大容量

本機に電力増幅ユニットの出力を接続して使用するシステムでは、各スピーカ回線が50W以下になるようにしてください。

また、本機1ユニットの合計最大W数は500Wです。



■スピーカ回線の系統の分けかた

- スピーカ回線の最大容量は50Wです。最大容量を越えてしまう場合には、回線数を分けるなどの対策が必要です。

PA入力はユニット内部で並列に接続されているために以下の場合には内部ジャンパを切断する必要があります。

- ①電力増幅ユニットの並列接続可能台数を越えてしまうとき
- ②異なる放送を同時に行うとき

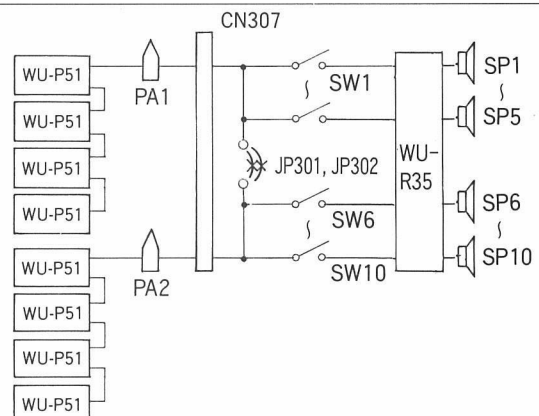
①電力増幅ユニットの並列接続可能台数を越えるとき

電力増幅ユニットの並列接続台数が右表の並列接続可能台数を越えてしまうときは、基板上のジャンパ線を切断してください。

電力増幅ユニット	増設可能な台数
WU-P51 WU-P52 の組み合わせ	4
WU-P53 を含む 組み合わせ	3

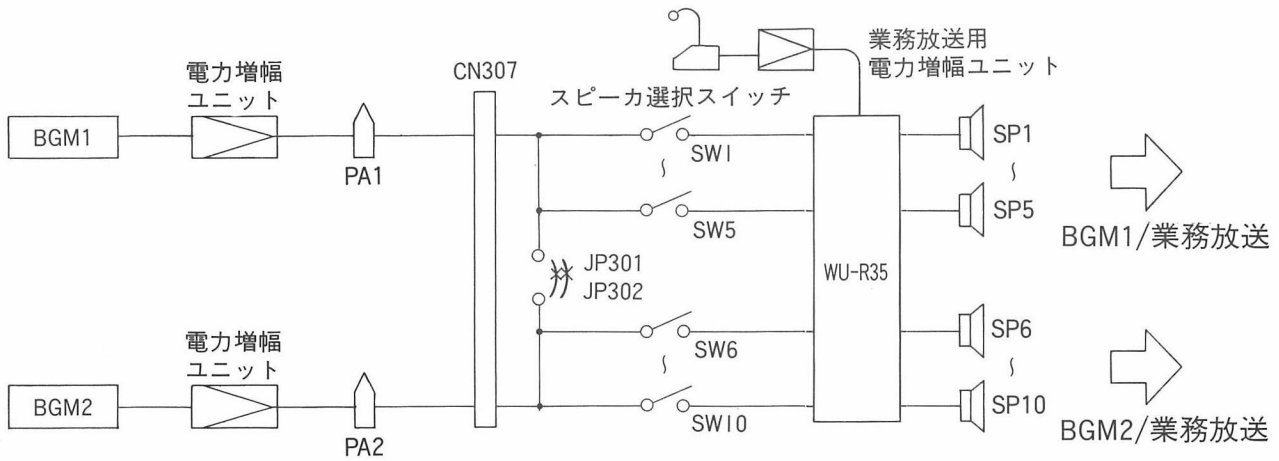
並列接続したときにジャンパ線を切断する例

本機を使用し、PA1とPA2に並列接続された4台のWU-P51をそれぞれ入力した場合、WU-P51が8台並列接続されたことになってしまいます。そのためジャンパ線のカットが必要となります。



②異なる放送を同時に行うとき

内部ジャンパを切断することにより、各PA入力が分かれるためスピーカ回線5回線単位で異なった放送を同時に行うことができます。

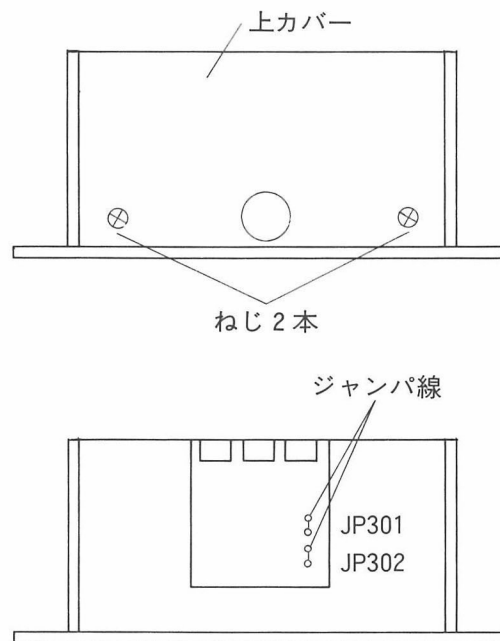


ご注意

- リモコンリレーユニットWU-R31(別売品)、を制御する場合は、内部ジャンパは切断しないでください。

●ジャンパ線の切断のしかた




- ①上カバーのねじ2本を外し、上カバーを取り外します。
- ②基板のジャンパ線 (JP301、JP302) をニッパなどで切断します。
- ③上カバーを取り付けます。



内部設定

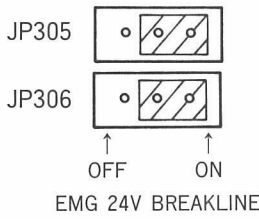
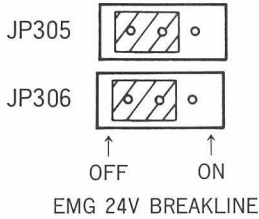
■スピーカ回線の容量が50Wを越えるとき

- BGM放送を行うスピーカ回線の容量が50Wを越えるときは、リモコンリレーユニットWU-R31を使用するため、本機の内部設定が必要になります。

WU-R31	内部設定
使用する (スピーカ回線の容量が 50Wを越えるとき)	JP303  RLU ON
	JP304  RLU OFF
使用しない (出荷時。スピーカ回線 の容量は50W以下)	JP303  RLU ON
	JP304  RLU OFF

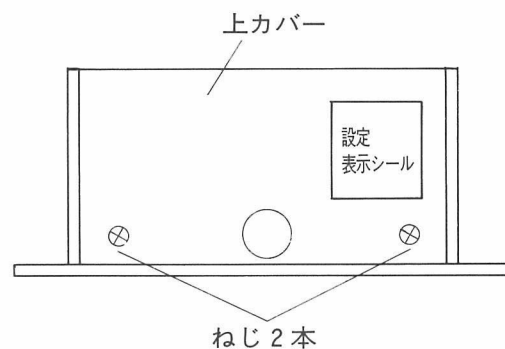
■非常用放送設備と接続するとき

非常用放送設備と接続するときは、BGM放送用WK-420(本機)と、業務放送用WK-420(WL-7100, 7600出荷時に実装済み)の両方のユニットで設定を行ってください。

非常用放送設備と 接続する場合	
非常用放送設備と 接続しない場合 (出荷時)	

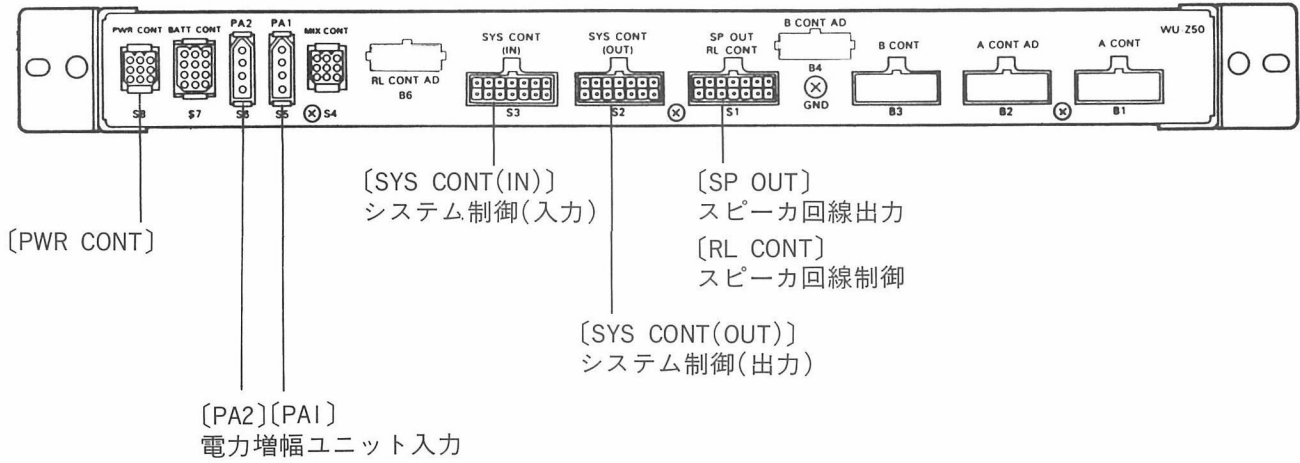
●上カバーのはずしかた

- ①上カバーのねじ2本を外し、上カバーを取り外します。
- ②内部設定を行います。
- ③上カバーを取り付けます。
- ④設定表示シールを上カバーに貼り付けます。



接続のしかた

■後面コネクタの接続のしかた



端子名		接続先			接続ケーブル
記号	名称	品番	記号	内容	ケーブル長、芯数、備考
S1	SP OUT	WU-R35(注1)	G8	SP IN	2.1m 14芯 (14P-14P)
	RL CONT	WU-R31(注2)	L4	スピーカ回線制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
S2	SYS CONT(OUT)	WK-430(注3)	2S3	システム制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		WU-R31(注4)	L6		
S3	SYS CONT(IN)	WU-Q55	T ₁ ~T ₄ のうち空き端子へ		2.1m 14芯 (14P-16P)
S5	PA1	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
		他のBGM放送用WK-430	2S4	PAI	1m 2芯
S6	PA2	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
S8	PWR CONT	WU-L60A	C1	PWR CONT IN	2.1m 8芯 WU-L60Aに付属

(注1) BGM放送が1回線あたり50W以下の場合

(注2) BGM放送が1回線あたり50Wを越え200W以下の場合

(注3) BGM放送のスピーカ回線を増設している場合

(注4) BGM放送のスピーカ回線の増設がなく、リモコンリレーユニットWU-R31を使用している場合

●本機には、以下の接続ケーブルが付属されています。

- ・2.1m 14芯(14P-14P)ケーブル……………1
- ・2.1m 14芯(14P-16P)ケーブル……………3
- ・2.1m 8芯(9P-9P)ケーブル……………1

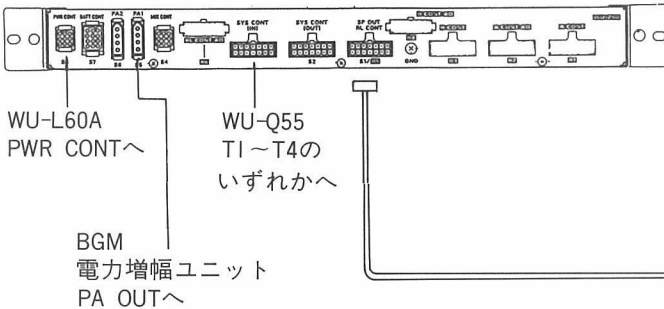
■ スピーカ出力コネクタの接続

BGM放送用のスピーカ選択ユニットWK-420のスピーカ出力コネクタは、BGM放送モード選択ユニットWU-R35のSP INまたは、BGM放送用リモコンリレーユニットWU-R31のRL CONTのコネクタに接続します。

● BGM放送が1回線あたり50W以下の場合

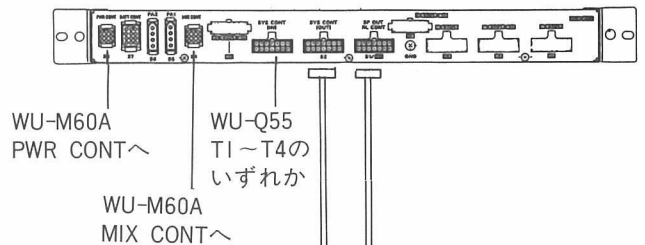
BGM放送用(本機)

WK-420後面

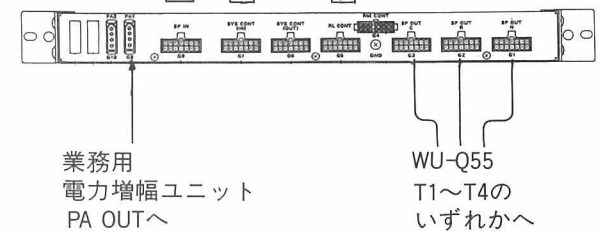


業務放送用

WK-420後面



WU-R35後面

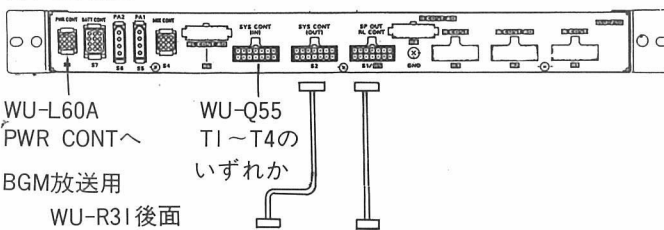


● BGM放送が1回線あたり50Wを越え200W以下の場合

リモコンリレーユニットWU-R31が必要です。

BGM放送用(本機)

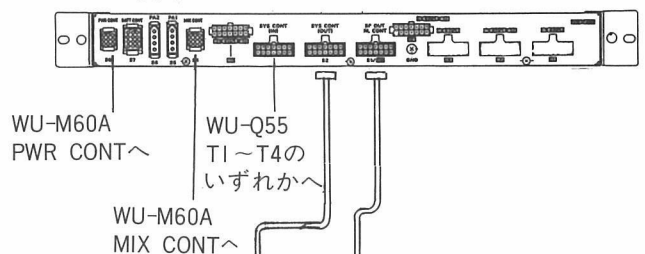
WK-420後面



BGM電力増幅ユニット
PA OUT

業務放送用

WK-420後面



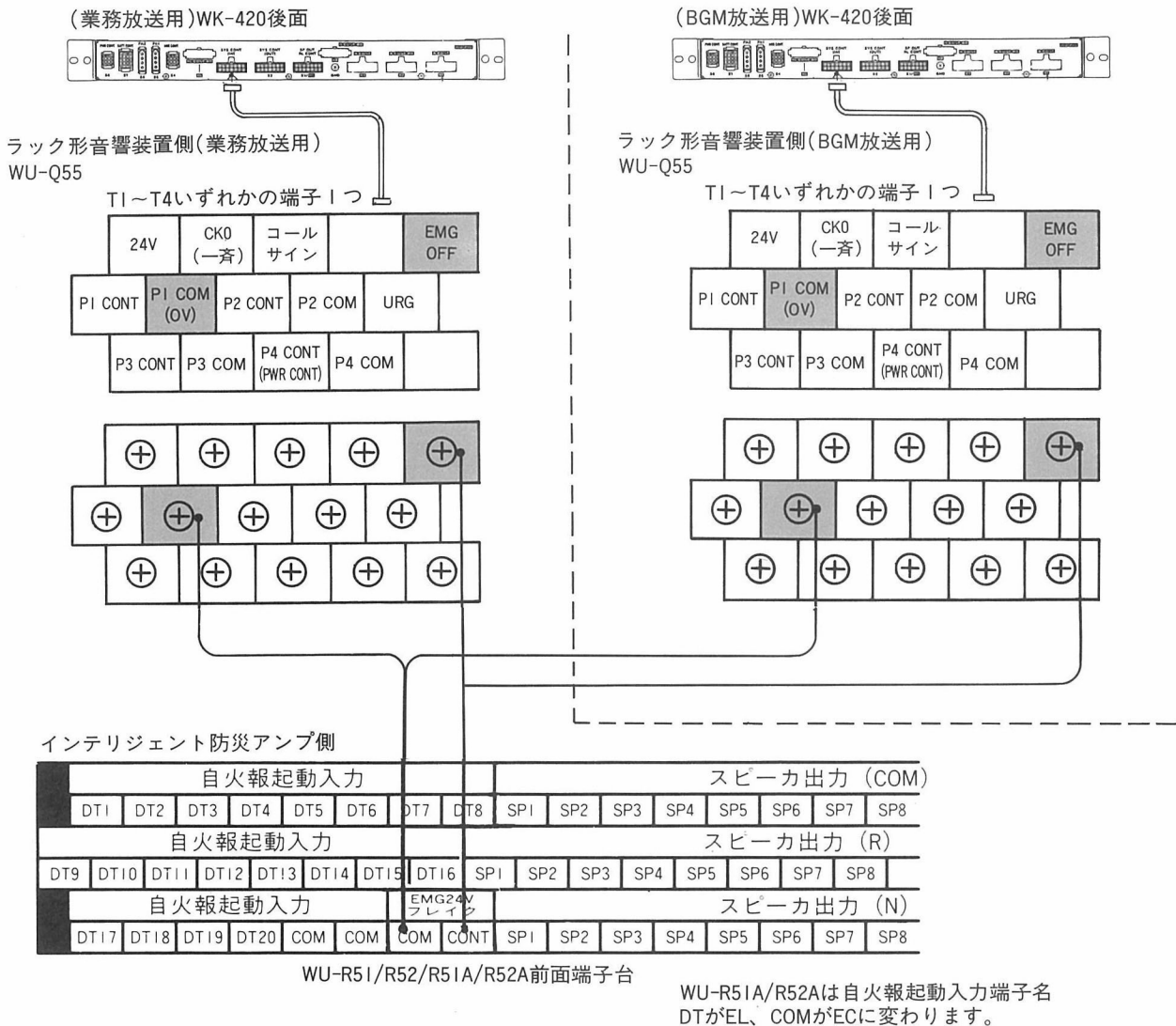
業務用
電力増幅ユニット
PA OUTへ

WU-Q55
T1~T4の
いずれかへ

接続のしかた

■非常用放送設備との接続

- ラック形音響装置のEMG OFFと非常用放送設備のEMG24Vブレイクの端子を接続します。
- BGM放送モード選択ユニットWU-R35を使用している場合は、業務放送用側とBGM放送用側の両方に接続してください。



※EMG24Vブレイクは、非常用放送設備から常時DC24Vの電圧が出力されていて、非常放送時にDC24V電圧を〔断〕にします。

(注) EMG OFFの制御電流はWK-420 1台当り約18mAです。(上記の例では約36mAになります)

ご注意

- 非常用放送設備と接続する場合は、BGM放送用・業務放送用の両方のスピーカ選択ユニットWK-420の接続および設定を行ってください。
- 非常用放送設備と接続を行った場合、非常時でなくても非常用放送設備の電源が切れた場合(停電時、点検時など)は、ラック形音響装置の電源が切れますのでご注意ください。

定格・付属品

■ 定 格

電 源：DC24V
消 費 電 流：最大150mA
蓄電池表示灯：1(赤)
スピーカ1回線あたりの最大W数：50W
スピーカ回線選択スイッチ：10
作 動 表 示 灯：10(緑)
一 斉 表 示 灯：1(赤)
放 送 中 表 示 灯：1(橙)
合計最大W数：500W
電力増幅ユニット入力系統：2系統
スピーカ出力：10回線

寸 法：480(幅)×44(高さ)×250(奥行)mmIU
質 量：約1.9kg
仕 上 げ：パネル：AVアイボリー塗装鋼板
マンセル7.9Y 6.8/0.8 近似色

■ 付 属 品

14芯(14P-14P)接続ケーブル……………1
14芯(14P-16P)接続ケーブル……………3
8芯(9P-9P)接続ケーブル……………1
設定表示ラベル……………1

記名表示シール……………3
ラック取付用リブ付ねじ(M5×12)……………2
ケーブル表示ラベル……………1

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

 **0120-878-410**

受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WK-420
	販売店名	電話（ ）	—			

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号